

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	英語・701 英語・801 英語・901	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～友達のスピーチや対話を聞いたり、友達に伝えるべき情報を聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～パーティーの計画についての対話を聞いたり、機内放送の情報を聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～社会的な話題に関する講演を聞いたり、ラジオの災害情報を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～留学先を選んだ理由や落語の特徴を読んだり、図や表などの情報を参考に、夏の計画の内容を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～職業体験についてのレポートを読んだり、時計の歴史に関する説明文の内容を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～俳句について説明する文章を読んだり、エネルギー問題に関する説明文の概要を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ペットや趣味、住んでいる場所について尋ね合ったり、レストランなどで注文したりする。</p> <p>第2学年～旅行の計画について尋ね合ったり、乗り物での行き方を尋ね、答えたりする。</p> <p>第3学年～世界の現状について感想や考えについて尋ね合ったり、相手の意見を受けて自分の主張を述べたりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～学校生活について調べたことを発表したり、思い出に残った学校行事について紹介したりする。</p> <p>第2学年～してみたいことについて発表したり、クラスで人気のあるものについての調査結果を報告したりする。</p> <p>第3学年～日本滞在中のおもてなしプランを発表したり、これまで経験したことを報告したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～自己紹介ポスターを書いたり、目的に合わせたグリーティングカードを書いたりする。</p> <p>第2学年～日本の習慣やマナーをまとめたメモを書いたり、ホームステイのお礼の手紙を書いたりする。</p> <p>第3学年～自分の意見や考えを加えた記事を書いたり、記事への意見文を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Stage Activity 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、好きな有名人について尋ね合ったり、有名人を紹介する文章を集めてクラス新聞を作成したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第2学年～「Stage Activity 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の好きなことや向いている仕事について伝え合ったり、10年後の自分へのメッセージを書いたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「Stage Activity 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、紹介したい日本文化について書いたり、書いた文章を読んでコメントし合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した特技や将来の夢の職業を尋ね合ったり、体験したことを発表したりするなどの活動を踏まえ、友達の紹介スピーチをしたり、冬休みの思い出を尋ね合ったりした後に、中学校生活の楽しさを伝える内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年において学習したおすすめの場所を尋ねたり、春休みの思い出を発表したりするなどの活動を踏まえ、おすすめのレストランを紹介したり、世界遺産を紹介したりした後に、自分の町のおすすめの場所を紹介する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第1,2学年において学習した行ってみたい国を尋ね合ったり、その国の言語を確認したりするなどの活動を踏まえ、考えなどを加えて記事を完成させたり、尊敬する人物を発表したりした後に、ディベートをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は12ユニット、総ページ数は167ページで、前回より約6%増となっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は159ページで、前回より約2%増となっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は155ページで、前回より約1%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 北海道に行くことについての対話を位置付けたり、北海道に生息する動物を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」(全学年)や、「Key Sentence・Today's Point 一覧」(全学年)を設けたり、巻末に「学習をふり返ろうーCAN-DO リストー」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第3学年の「Unit 3 『Animals on the Red List』」でエゾナキウサギ、シマフクロウやタンチョウの写真が掲載されており、絶滅危惧種の動物の現状を把握し、解決策について考える活動が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、本文や語句の音声を聞くことができ、授業や家庭学習において、音声を活用した学習を行うことができるようになっております。また、口形動画を視聴し、発音の際の口の動きをつかむとともに、Previewの動画の視聴を通して、Unitで扱う文法項目の使用場面や目的等を予想することができるなど、効果的な文法導入となるよう工夫がなされている。</p>

	<p>○ 小中連携による指導については、アルファベットと音声の関係性を学習するフォニックスについて、第1学年の中で多く扱われているとともに、「Unit0」から「Unit5」までは、小学校での学びを復習する内容となっており、中学校の学習に円滑に接続するよう配慮がなされている。また、新出語句の欄とは別に、小学校で学習した語句が明記されているなどの配慮がなされている。</p>
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 情報や考えを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう、「Let's Talk」では、実生活に即した場面や状況に合わせて即興的なやり取りを行う活動を設定するとともに、第3学年の「Stage Activity」では、中学校3年間を振り返り、スピーチを発表したり、ディベートをしたりするなど、即興で自分の考えや気持ちを伝え合う活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 初見の英文を、文と文とのつながりを意識しながら書かれた内容を正確に読み取り、書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう、第2、3学年の各単元に位置付けられている「Read&Think」では、複数の題材が設定され、概要から詳細の順に本文を捉える活動を設定するとともに、本文の内容を要約したり、表にまとめたりする活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて、正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう、各Unitでは、本文を参考にしながら自分のことについて発信する活動を位置付けるとともに、「Unit Activity」や「Stage Activity」では、聞いたり読んだりしたことについて、グループの中で自分の考えを話したり、書いたりする活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語 702 英語 802 英語 902	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～人物紹介やスピーチを聞いたり、店内放送で宣伝している内容を聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～夢の旅行についてのスピーチを聞いたり、天気予報の内容を聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～記者会見でのやりとりを聞いたり、非常時のアナウンスの内容を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～部活動の説明や自己紹介を読んだり、旅行先から送られた絵はがきの内容を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～人物についてのポスターを読んだり、職場体験についての発表の内容を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～学校紹介のホームページを読んだり、フェアトレードについての発表の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～新しい仲間について尋ね合ったり、マッピングを基にペアで即興で話したりする。</p> <p>第2学年～将来なりたい職業について尋ね合ったり、好きな季節について説得力のある主張をしたりする。</p> <p>第3学年～電車の乗り換えの仕方について尋ね合ったり、テーマを基にディスカッションをしたりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～自分や紹介したい人物について発表したり、絵や写真についてスピーチをしたりする。</p> <p>第2学年～ゆめの旅行を企画し発表したり、この1年で得た宝ものについてスピーチをしたりする。</p> <p>第3学年～中学校の思い出をまとめて発表したり、地元のものを外国の人にPRしたりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～自己紹介カードを書いたり、自分のことについてスピーチ原稿を書いたりする。</p> <p>第2学年～調べたことを基にポスターを書いたり、物語について自分の意見を書いたりする。</p> <p>第3学年～自分の学校を紹介する文を書いたり、中学校の思い出の原稿を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Our Project 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「Our Project 4」において、学習課題を設定し、見通しをもた</p>			

	<p>せるとともに、スピーチをしたり、スピーチに対する感想を述べ合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「Our Project 7」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチのメモについてアドバイスをし合ったり、スピーチについて質問をしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介をしたり、友達へのインタビューをしたりするなどの活動を踏まえ、自分についてスピーチをしたり、人物について紹介したりした後に、自分が選んだ絵や写真についてスピーチする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年において学習したインタビューをしたり、スピーチから英語のきまりを考えたりするなどの活動を踏まえ、グループでプレゼンテーションをしたり、調べた情報を基に文を書いたりした後に、スピーチやメッセージを作成する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習したペアでディベートをしたり、必要な情報をメモしたりするなどの活動を踏まえ、グループでスピーチをしたり、地元についてPRしたりした後に、中学校の思い出について原稿を書いて、発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習ができるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は10ユニット、総ページ数は159ページで、前回より約7%減となっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は159ページで、前回より約2%減となっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は151ページで、前回より約2%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 札幌市に関するインタビューを位置付けたり、札幌市の雪像や味噌ラーメンを取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語の学習方法を紹介する「この教科書で学ぶみなさんへ」(全学年)や、辞書の使い方を紹介するページ(全学年)を設けたり、巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第2学年の「PROGRAM 8」のInteractで札幌市時計台が扱われるとともに、第3学年の「Our Project 8『あなたの町を世界にPRしよう』」では、自分たちの町のPRしたいものを英語で発信する活動が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、本文やリスニング問題の音声、本文のアニメーションを視聴することができ、授業や家庭学習において繰り返し聞いて、内容を理解することができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の冒頭に、小学校英語との接続を目的とした「Get Ready」が設定されており、英語が苦手な生徒にも安心感や達成感を与えるよう配慮がなされている。</p>

本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 情報や考えを即座にやり取りしたり，相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう，「Try」では，与えられた話題について，即興でコミュニケーションを行う活動を設定するとともに，「Interact」では，第3学年において，無人島に持って行くものについて，ディスカッションを行う活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 初見の英文を文と文とのつながりを意識しながら，書かれた内容を正確に読み取り，書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう，「Reading」の単元では，「Pre-Reading」で題材に興味をもたせ，概要をつかむことができる設問や，「While-Reading」で背景情報や詳細を読み取る設問を設定するとともに，「Post-Reading」で情報を整理し，自己表現を促す3つの段階の設問を通した読解活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて，正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう，「Our Project」では，聞いたり読んだりしたことについて，グループ内で交流する活動を設定するとともに，「Steps」では，文章の構成や言い換えなどについて学習し，分かりやすく文章を書く活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語 703 英語 803 英語 903	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～先生の自己紹介や人物紹介を聞いたり、大切なものについてのスピーチを聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～将来の夢についてのスピーチを聞いたり、図書館の案内放送の内容について聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～町や地域についてのスピーチを聞いたり、避難訓練のアナウンスの内容を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～先生の自己紹介や人物紹介を読んだり、文具店のチラシの情報を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～英語の本の紹介記事を読んだり、ニュージーランドの先生からのメールの内容を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～音楽についての記事を読んだり、マンガとアニメについて紹介する文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～好きなスポーツや食べ物について尋ね合ったり、メモを基にペアで話したりする。</p> <p>第2学年～夏休みの出来事について尋ね合ったり、遠足の行き先を考えて理由とともに提案したりする。</p> <p>第3学年～行きたい場所について尋ね合ったり、空き地の利用についてのディスカッションをしたりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～大切なものについて発表したり、紹介したい人物についてスピーチをしたりする。</p> <p>第2学年～将来の夢やしてみたいことについて発表したり、自分の町についてスピーチをしたりする。</p> <p>第3学年～日本限定アイスクリームのアイデアについて発表したり、町や地域の文化について紹介したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～English Campの申込書を書いたり、町の魅力を発信するタウンガイドを書いたりする。</p> <p>第2学年～アンケートを基に考えを整理してレポートを書いたり、修学旅行の企画書を書いたりする。</p> <p>第3学年～おおすすめの日本語を伝える文を書いたり、20歳の自分に伝えたいメッセージを書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おおすすめの場所とその理由を整理したり、分担して原稿を作成したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせる</p>			

	<p>とともに、修学旅行のプランについて提案する内容を考えたり、企画書をまとめたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際交流イベントで地域の紹介をする発表原稿を書いたり、発表を聞く審査員になったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介や人物紹介を聞いたり、好きなスポーツや食べ物を尋ね合ったりするなどの活動を踏まえ、メモを基にペアで話したり、英語のタウンガイドを作成したりした後に、大切なものについて発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年において学習したおすすめの物について紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、将来の夢を紹介したり、アンケート結果を基に企画書を作成したりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習したおすすめを紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、日本限定のアイスクリームを提案したり、町や地域の文化について発表したりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習ができるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は147ページで、前回より11%減となっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は125ページで、前回より25%減となっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は129ページで、前回より約22%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 日本での旅行に関するブログの読み取りを位置付けたり、日本の漫画とアニメの記事を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語の学習方法を紹介する、「この教科書のしくみ」(全学年)や、辞書の使い方などを紹介するページ(全学年)を設けたり、巻末に「What Can I do?」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、北海道及び本市に関わる素材は扱われていない。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、本文や語句、リスニングタスクの音声を聞くことができるとともに、活動のモデルや、英語特有の発音の口の内部を示したアニメーション等の動画素材を視聴することができ、授業や家庭学習において音声や動画を用いて効果的学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の冒頭の「Starter」からLesson 3までは、小学校での学びを復習する内容となっており、中学校の学習に円滑に接続するよう配慮がなされている。</p>

本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 情報や考えを即座にやり取りしたり，相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう，「Take Action! Talk」では，対話場面や目的に応じて，伝え合う活動を設定するとともに，第3学年のまとめの活動では，空き地利用に関してディスカッションを行う活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 初見の英文を文と文とのつながりを意識しながら，書かれた内容を正確に読み取り，書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう，世界中で読まれている文学作品を登場人物の気持ちなどを考えながら読み進める「Reading for Fun」や，チラシや観光マップなどから目的や場面，状況に応じて必要な情報を読み取る「Reading for Information」を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて，正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう，各Lessonの「USE」では，既習の文法事項を活用して，まとまりのある英文を書く活動を設定するとともに，「Project」では，目的や場面に応じて，聞いたり読んだりしたことについて，自分の言葉で書いたり，グループ内で発表したりする活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	英語・704 英語・804 英語・904	ONE WORLD English Course
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～友達の自己紹介や人物紹介を聞いたり、アンケート結果の発表を聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～将来の夢についてのスピーチを聞いたり、短期留学プログラムについての情報を聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～卒業スピーチを聞いたり、ショッピングモールのアナウンスの概要を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～友達の自己紹介や人物紹介を読んだり、ピクトグラムについての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～ハロウィーンについての記事を読んだり、職場体験で学んだことについての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～自然保護についての記事を読んだり、スポーツ選手について紹介する文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～夏休みの出来事について尋ね合ったり、様々な話題について1分間のチャットをしたりする。</p> <p>第2学年～過去にしていたことについて尋ね合ったり、盲導犬の記事について自分の意見や気持ちを伝え合ったりする。</p> <p>第3学年～これまでに経験したことについて尋ね合ったり、プレゼンテーションについての感想を伝え合ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～アンケート調査の結果について発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする。</p> <p>第2学年～将来の夢について発表したり、グループで日本の文化について紹介したりする。</p> <p>第3学年～あったらいいと思う商品やサービスについてCMを作って発表したり、卒業スピーチをしたりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～その日の出来事について日記を書いたり、オリジナルの標識について説明する文を書いたりする。</p> <p>第2学年～マッピング図を基にまとめた文を書いたり、行ってみたい名所について紹介する文を書いたりする。</p> <p>第3学年～自分の考えを具体的に伝える文を書いたり、卒業スピーチの原稿を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、アンケート調査を行ったり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第2学年～「Project 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせる</p>			

	<p>とともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第3学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動。</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介や人物紹介をしたり、夏休みの思い出について伝え合ったりするなどの活動を踏まえ、人について尋ね合ったり、予定について伝え合ったりした後に、町にあるものやないものについて伝え合う内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第2学年～第1学年において学習した旅行の計画について伝え合ったり、ガイドからの情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、自分の意見や知っていることを述べたり、理由を添えて説明したりした後に、人や物を比べて違いを伝える内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習した観光地の説明を聞いて内容を把握したり、スピーチから情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、経験したことを伝えたり、人や物について説明したりした後に、ディスカッションやディベートをする内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は9ユニット、総ページ数は163ページで、前回より約22%減となっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は9ユニット、総ページ数は167ページで、前回より約13%減となっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は167ページで、前回より約11%減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 北海道の観光名所についての対話を位置付けたり、北海道の自然保護やスポーツ選手を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語の学習方法を紹介する「How to Study」(全学年)や、辞書の使い方を紹介する「辞書について学ぼう！」(全学年)を設けたり、巻末に「Can-Do自己チェックテスト」(全学年)を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第1学年の「Lesson8 『Holiday in Hokkaido』」では旭山動物園の写真を掲載し、単元の題材として取り扱われるとともに、第3学年の「Lesson 2 『The Eagles in Hokkaido』」では、猛禽類保護の取組について北海道のオオワシが単元の題材として取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、教科書本文や即興でやり取りする「Activities Plus」の音声を聞くことができ、授業や家庭学習において繰り返し聞くことでリスニング力が向上するよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の冒頭の「Springboard」からLesson 3までは、小学校での学びを復習する内容となっており、中学校へ円滑に接続するよう配慮されている。</p>

<p>本市生徒 の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報や考えを即座にやり取りしたり，相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう，第3学年の「Lesson 7『Debating Doggy Bags』」ではディベートの活動を設定するとともに，巻末には，即興で自分の考えや気持ちを，カードや赤色マスキングシートを使って伝え合う「Activities Plus」の活動を設定するなど，継続的に取り組む工夫がなされている。 ○ 初見の英文を文と文とのつながりを意識しながら，書かれた内容を正確に読み取り，書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう，教科書本文の内容について尋ねる「Question」を各ページに設定するとともに，まとまった量の英文を読み取る「Reading」や「Further Reading」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて，正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう，「Project」では，グループ活動等を通して，行ってみたい名所を紹介したり，日本の文化を紹介したりする活動を設定するとともに，「Think & Try」では，本文の場面設定の中で，生徒が思考を働かせ，自分の言葉で話したり，書いたりする活動を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	英語・705 英語・805 英語・905	Here We Go! ENGLISH COURSE
<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～友達の自己紹介や人物紹介を聞いたり、ラジオの中継の内容を聞き取ったりする。 第2学年～天気予報を聞いたり、空港や機内アナウンスの内容を聞き取ったりする。 第3学年～修学旅行の行き先についてディスカッションを聞いたり、ニュースの概要を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～友達の自己紹介や人物紹介を読んだり、学校のウェブサイトの内容を読み取ったりする。 第2学年～観光ガイドブックを読んだり、職場体験についてのレポートの内容を読み取ったりする。 第3学年～外国の学校についてのブログを読んだり、ボランティアについての手記の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～夏休みにしたいことについて尋ね合ったり、冬休みにしたことについて伝え合ったりする。 第2学年～過去にしていたことについて尋ね合ったり、防災バッグの中身について話し合ったりする。 第3学年～これまでに経験したことについて尋ね合ったり、プレゼンテーションについての感想を伝え合ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～学校紹介のウェブサイトの内容を発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする。 第2学年～町の観光プランを発表したり、日本の面白いものについて紹介したりする。 第3学年～ブログを読んで意見を発表したり、学校に必要なものについての意見を伝えたりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～冬休みの出来事を伝える葉書を書いたり、アルバムに載せる写真の説明を書いたりする。 第2学年～予定を伝えるメールを書いたり、町の名物などについて紹介する文を書いたりする。 第3学年～投稿文に対する感想や意見を書いたり、自分の気持ちを伝える手紙を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「You Can Do It! 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ウェブサイトの学校紹介の内容について考え、発表したり、コメントをし合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				

	<p>第2学年～「You Can Do It! 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、条件にあった観光プランを考えたり、観光プランを発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「You Can Do It! 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学校に必要なものについての意見を讀んだり、自分の意見を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介や人物紹介をしたり、友達のできることにについて尋ね合ったりするなどの活動を踏まえ、夏休みの予定について伝え合ったり、人について尋ね合ったりした後に、何かをしている写真について説明する内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第2学年～第1学年において学習した過去にしたことについて伝え合ったり、日記からの情報を理解するなどの活動を踏まえ、予定について尋ね合ったり、意見や理由などを述べたりした後に、人や物を比べて説明する内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習した海外の学校生活の説明を讀んで内容を把握したり、意見を述べ合ったりするなどの活動を踏まえ、経験したことを伝えたり、人や物について説明したりした後に、議論に参加して意見を述べる内容を学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は175ページで、前回より約1%減となっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は175ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は175ページで、前回より約9%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 北海道の観光地の音声案内を聞き取る活動を位置付けたり、旅行の行き先として北海道を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学び方ガイド」(全学年)や、辞書の使い方などを紹介する「Your Coach」(第1学年)を設けたり、巻末に「Can-Do List」(全学年)を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第3学年の「Unit 2 『Our School Trip』」では、リスニング問題の中で旭山動物園の写真が掲載されるとともに、これまで旅行した場所を尋ね合う対話の中で、題材としても扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、本文の音声やスライドアニメ、実写映像等を視聴することでき、教科書のストーリーを楽しみながら見たり、会話をする際のイメージをつかんだりするなど、授業や家庭学習においても主体的に学習が進められるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、「発音とつづり」の学習につなげる「Sounds and Letters」が設定されるとともに、第1学年の冒頭に「Let's Be</p>

	Friend!」が設定されており，小学校で学習した基本表現が復習できるよう配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報や考えを即座にやり取りしたり，相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう，Unitの本文を自分の英語で伝える「Story Retelling」を設定するとともに，巻末の即興スピーキングドリル「Let's Talk!」を活用して，即興で自分の考えや気持ちを伝え合う活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 初見の英文を文と文とのつながりを意識しながら，書かれた内容を正確に読み取り，書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう，各ユニットや「Let's Read」において，概要を読み取ったり，詳細の情報を読み取ったりするなどの活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて，正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう，「You Can Do It!」では，自分の意見などを書いた原稿をもとに，グループ内で交流する活動が設定されるとともに，「Daily Life」では，電話や道案内など，日常生活に直結した場面の英語を使用した，実践的な英語力を育む活動を設定するなどの工夫がなされている。
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		61・啓林館	第1学年 第2学年 第3学年	英語・706 英語・806 英語・906	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～自己紹介や人物紹介を聞いたり、コマーシャルの内容を聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～災害発生時の注意を聞いたり、天気予報の内容を聞いて天気や気温を聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～昔の家電製品についてのクイズを聞いたり、ツアーガイドの案内の情報を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～自己紹介や冬休みの思い出を読んだり、日本のマンガ文化についての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～シンガポール旅行のマナーを読んだり、手話ロボットについての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～「シカ踏切」についての記事を読んだり、歴史的な出来事についての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～普段することや好きなものについて尋ね合ったり、ファーストフード店で注文したりする。</p> <p>第2学年～昨晚していたことについて尋ね合ったり、やってみたいスポーツを尋ね合ったりする。</p> <p>第3学年～週末や最近の出来事について尋ね合ったり、制服が必要かどうかについてディスカッションしたりする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～写真を見て何をしているところかを発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする。</p> <p>第2学年～動物の生態を発表したり、学校や教室でのルールを留学生に説明したりする。</p> <p>第3学年～自分の住む町の名所・名物を発表したり、外国の人に有名な日本人について説明したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～インタビューを基に人物紹介を書いたり、その日の出来事について日記を書いたりする活動</p> <p>第2学年～自分の部屋にあるものを書いたり、非常用持出袋に入れたい防災用品とその理由を書いたりする活動</p> <p>第3学年～自分の好きな有名人を説明する文を書いたり、中学校生活の思い出を書いたりする活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Project2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達や先生の紹介をしたり、紹介文を友達と交換し感想を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「Project2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせる</p>			

	<p>とともに、憧れの職業についてスピーチをしたり、スピーチを聞いて質問し合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「Project2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統行事の紹介文を書いたり、原稿を交換して読み合いアドバイスをしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した名刺を作ったり、小学校の思い出の行事を言ったりするなどの活動を踏まえ、友達や憧れの人のことを紹介したり、過去の出来事について尋ね合ったりした後に、その日の出来事について日記に書く内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年において学習した文を読んで記事の内容を理解したり、絵本について説明したりするなどの活動を踏まえ、自分の考えに理由を加えて発表したり、紹介したいものに説明を加えたりした後に、睡眠時間の長さを比較して発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習した文を読んで講演の内容を理解したり、会話を聞いて内容を理解したりするなどの活動を踏まえ、人や物について情報を加えて説明したり、事実とは違う願望を言ったりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～総ユニット数は10ユニット、総ページ数は151ページとなっている。</p> <p>第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は159ページとなっている。</p> <p>第3学年～総ユニット数は6ユニット、総ページ数は143ページとなっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 北海道のスーパークレーを取り扱ったり、クリオネの生態について書かれた文を読む活動を位置付けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 英語の授業で使う表現をまとめた「Classroom English」(第1学年)や「こんなときどう言うの?」(第2, 3学年)や、Unitの学習を振り返る「Targetのまとめ」(全学年)を設けたり、巻末に「Can-Doリスト」(全学年)を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第3学年の「Unit1『Food Cultures』」では、訪問したことがある場所の例として北海道が扱われるとともに、「Unit6『Lively Towns in Japan』」では、北海道のローカルフードが題材として扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、教科書にQRコードが掲載されており、本文や語句の音声を聞くことができるとともに、語句の和訳を画面上に表示して確認することができるなど、音声を活用しながら臨場感をもって学習することができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の冒頭に小学校の学習内容を復習する「Let's Start」が設定されており、文字の学習において、小学校で</p>

<p>本市生徒 の 学習の状況等</p>	<p>の学習がスムーズに中学校に移行できるよう配慮がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報や考えを即座にやり取りしたり，相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した意見を述べたりすることができるよう，各 Unit 末の「Let's Talk」において，即興で自分の考えや気持ち，必要な情報等を伝え合うなど，身近な題材を使って英語によるコミュニケーション活動を設定するとともに，第3学年のまとめの活動では制服についてのディスカッションを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 初見の英文を文と文とのつながりを意識しながら，書かれた内容を正確に読み取り，書き手の伝えたいことや必要な情報を読み取る力を育むことができるよう，「Read&Think」や「Let's Read」では，まとまった量の英文を読み，内容を大まかにつかんだり，詳しく読んだりすることができる活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 外国語によるコミュニケーションの中で身に付けた文法や語彙などの知識を用いて，正確に英文を書いて発信する力を育むことができるよう，「Project」では，聞いたり，読んだりしたことについて自分の意見を書く活動が設定されるとともに，「Express Yourself」では，各 Unit のテーマに沿ったミニスピーチを作成し，発表したりする活動を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	